



緑の募金事業候補応募書

令和7年2月24日

公益社団法人 国土緑化推進機構
理事長 濱田 純一 殿

応募者の名称等

〒 460-0004

住 所 名古屋市中区新栄町2丁目3番地 YWCAビル7F

法人・団体
の名称 特定非営利活動法人 イカオ・アコ

代表者氏名 後藤 順久
TEL

下記の活動を行いたく、「緑の募金」の「SDGs貢献使途限定募金」による支援を希望しますので、事業候補に応募いたします。

記

1. テーマ（募集規則に定められたテーマのうち特に該当するもの1つを記載）

(2) 気候変動対策への貢献（SDGs目標7、13貢献）

2. 事業名（簡潔に記載。20字以内）

廃棄養殖池における植林による豊かで美しいマングローブ林の再生

3. 事業目的（この事業を行うことで解決したい課題等を具体的かつ簡潔に記載。60字以内）

マングローブ林が地球上の植物の中で生産力に優れ、二酸化炭素固定による気候変動対策に寄与するため、植林事業を行う

4. 事業内容（募金者の作業参加を含め、何をどれだけ実施するのか等、簡潔に記載。

複数年の事業の場合、全体計画の位置づけも明示し、別途全体計画のわかる資料を添付）

3万本のマングローブ苗を住民が採取し、ポットで育苗したのち、全住民が、サイト全体200haのうち、本事業によって4haに植栽する。樹種をかつて繁茂していたBakaw、Pagadpat、Bungalon、の3種類とする。苗に絡みついて枯れ死させる海洋プラスチックを除去するため、海岸清掃を実施する。枯れ死した場合、そのポイントに補植作業を行い、苗の生存率を高める。

(注) SDGsへの貢献について、別添に記載してください。

5. 事業場所（位置図を別途添付）

（都道府県・市町村・地番）
フィリピン・ボホール州マハナイ島
（所有者）
行政所有で、住民が利用権を所有

全体面積	200	ヘクタール
実作業面積	4.0	ヘクタール

6. 現地の状況（別途説明付きの写真、地図・図面等を添付。必要に応じて参考資料を添付）

マハナイ島において、マングローブ林が養殖池造成のため消滅した。マングローブ林は、水生動物の産卵・揺籃場所として重要である。漁業の村であるが、この消滅は近海漁業の不振のひとつの原因となっている。生態系破壊だけでなく、高波が無防備な海岸部の家屋を飲み込みそうな状況にある。イカオ・アコは2009年から40haに400,000本の植林を行ってきた。

7. 事業実施希望期間

令和7年8月 ～ 令和8年7月

8. 事業実施スケジュール（特に、募金者の現地での作業参加の機会を明記）

時期	内容
令和7年8月	役場、住民（110家族）と詳細計画の作成 苗の採取開始
令和7年9月	苗の収集、苗の植栽、海岸清掃
令和7年10月	苗の収集、海岸清掃
令和7年11月～令和8年2月	苗の収集、苗の植栽、海岸清掃
令和8年3月	苗の収集、海岸清掃
令和8年4月～6月	苗の収集、苗の植栽、海岸清掃
令和8年7月	苗の植栽、海岸清掃、事業評価、報告書作成

9. 事業完了後の取組成果の展開予定

（事業完了後の維持管理（主体、内容、期間等）や成果を踏まえた新たな展開について記載。
必要に応じて参考資料を添付）

本事業の苗の維持管理主体は役場と住民であり、当団体はそのモニタリングを担当する。過去の平均的な生存率は46%である。3年間、維持管理ができれば、苗は2メートルとなり、自立的に成長できる。事業終了後、植栽すべきスペースは200haもあり、時間は相当かかるが、カーボンクレジット化の適用を考えたい。関連機関と調整中である。最後の1本まで植林を継続する。

10. 資金計画書

1ペソ=2.6円

区分		予算額 (千円)	内訳	
収入の部	緑の募金交付金	2,964		
	自己資金	492	寄付、会費	
	その他助成金	0		
	合計	3,456		
支出の部	行動費	レンタカー	208 4,000ペソ/日 x 20回	
		ガソリン	41 片道40km x 2 x 10ペソ/km x 20回	
		ボートレンタル	104 2,000ペソ/日 x 20回	
		小計	353	
	環境整備費	労働者賃金	130 フェンス・作業道の建設 500ペソ x 100日	
		小計	130	
	資材費	苗代	1,950 25ペソ/本 x 30,000本、Bakaw、Pagadpat、Bungalonの3種、樹高20-40cm	
		清掃活動用の道具	26 ゴミ袋：30ペソ x 200枚、手袋、はさみ等4,000ペソ	
		育苗用ポット	48 370ペソ x 50セット	
		フェンスの建設・作業道	104 竹200ペソ x 150本、ロープ5,000ペソ、釘・ハインターなど5,000ペソ	
		バナー	7 3,000ペソ x 1枚	
		小計	2,135	
	資材等運搬費			
	小計	0		
	指導者経費			
	小計	0		
	事務費	プリンターインク	0	
		通信費	31 電話プリペイドカード 1,000ペソ x 12ヶ月	
		現地スタッフ賃金	312 20,000ペソ x 12ヶ月 x 1人 x 50%	
		文房具	3 ファイル、ペン、用紙等	
	小計	346		
	交付金計		2,964	
	の自己使用資金内訳等	現地スタッフ賃金	312 20,000ペソ x 12ヶ月 x 1人 x 50%	
		日本人スタッフ渡航費・宿泊費	180 航空券：15万円 x 1往復、宿泊費：6,000円 x 5泊	
		自己資金等計	492	
合計		3,456		

(注1) 自己資金等には他団体からのその他助成金を含めてください。

(注2) 募集規則の「交付対象経費」一覧で適切な科目区分をご確認ください。

(注3) 交付金での支援決定の前には、上記一覧の細分毎の額を提出いただきます。

11. 応募者の概要

法人・団体の設立年月日	1997年1月設立（2009年12月法人格取得）
連絡先 電話番号	050-6873-1521
F A X 番号	なし
E - m a i l	ikawako.mangrove@gmail.com
ホームページ	http://ikawako.com/
会員数	375名
活動目的	フィリピンにおいて、熱帯林再生などに関する事業を行い、環境に係る問題の改善や解決を図り、住民の生活の質の向上と日本・フィリピンの相互理解及び親善の増進に寄与することを目的とする。
主な活動内容	現地の住民団体等と連携して、主にマングローブの植林を行ってきた。マングローブの植林だけでなく、山地での植林や環境教育、エコツーリズム、農業の6次産業化、ごみの減量化など、住民の生計向上支援も合わせて活動の幅が広がってきている。
主な活動地域	フィリピン西ネグロス州、及びボホール州
主な森林整備及び緑化推進活動の実績（具体的な数値を記載。「緑の募金事業」によるものは明記。必要に応じて参考資料を添付）	1997年から2023年3月までの26年間で200万本のマングローブの植林を実施してきた。生存率は46%である。事業地はネグロス島、ボホール島の2島であり、前者が160万本、後者が40万本となっている。平成29年から平成元年の「緑の募金事業」で上流・下流合わせて2.5万本の植林を行った。

実施事業のSDGs（持続可能な開発目標）への貢献について （整理表）

この整理表は、予定される事業のSDGs（持続可能な開発目標）への貢献について確認するものです。

1. SDGsの17の目標のうち、予定事業が、その達成に貢献する目標にチェック「✓」をしてください。（複数チェック可）
2. チェックのある目標について、その達成に貢献する具体的な活動を記入してください。
3. 申請に当たってのテーマ以外も含めて記入ください。

SDGsの目標		チェック	貢献する具体的な活動を記入
1	貧困をなくすこと	<input checked="" type="checkbox"/>	マングローブ植林の労働に係ることによって、対価が得られる。一時的ではあるが、村の住民の低所得を改善する。
2	飢餓をなくすこと	<input type="checkbox"/>	
3	健康であること	<input type="checkbox"/>	
4	質の高い教育	<input checked="" type="checkbox"/>	マングローブを主題にして、住民にオンサイトで環境教育を行う。他のサイトで実施経験が豊富で、マングローブを大事にするという習慣が身に付いた。
5	ジェンダーの平等	<input type="checkbox"/>	
6	清潔な水と衛生	<input type="checkbox"/>	
7	再生可能エネルギー	<input type="checkbox"/>	
8	適切な良い仕事と経済成長	<input type="checkbox"/>	
9	新しい技術とインフラ	<input type="checkbox"/>	
10	不平等を減らすこと	<input type="checkbox"/>	
11	持続可能なまちと地域社会	<input type="checkbox"/>	
12	責任を持って生産し、消費すること	<input type="checkbox"/>	
13	気候変動への対策	<input checked="" type="checkbox"/>	マングローブ林が地球上の植物の中でも生産力に優れているため、温暖効果ガスである二酸化炭素固定による地球規模の環境対策に寄与することが期待される
14	海のいのちを守ること	<input checked="" type="checkbox"/>	感潮域に生育するマングローブ林は、水生動物の産卵場所、揺籃場所として重要であり、海の生態系の維持のために欠かせない環境である
15	陸のいのちを守ること	<input type="checkbox"/>	
16	平和で公正な社会	<input type="checkbox"/>	
17	目標のために協力すること	<input checked="" type="checkbox"/>	住民団体、行政、学校と良好なパートナーシップを構築し、協働してマングローブ再生という困難な問題の解決を目指す

（注）SDGs（持続可能な開発目標）は、貧困や格差、気候変動、海・陸の豊かさなどのさまざまな問題を抜本的に解決することを目指す、世界共通の17の目標です。

詳しくは、国連広報センターのサイトや国土緑化推進機構のサイトのハンドブック等をご参照ください。

http://www.unic.or.jp/activities/economic_social_development/sustainable_development/2030agenda/

<http://www.green.or.jp/about-us/sdgs/>